

あぶた福祉会

第18回

一年を振り返って

平成20年度も終わりに近づき
何かと忙しい年度末となりました。

授産施設あすなるのこの1年間を、作業班毎に振り返ると、まずパン班では、外国産小麦粉から道産小麦粉への切り替えと、学校給食のパンの製造の開始が大きな出来事でした。

開始当初は、軌道にのるまで苦労した点多々あり、日々担当支援員や利用者は、「美味し



毎日気持ちを込めて作るパン班

いパンを食べてもらいたい」という気持ちを込めて作っています。小麦粉をはじめ材料の高騰により価格を上げることも余儀なくされた種類のパンもありました。

喫茶店「あるそ〜れ」では、毎月パンフェアを行っており、多くの方が来店されます。販売車では、定休日の火曜日と土曜祭日以外、町内と伊達方面を3名で販売しています。利用者は自分たちで販売することで、責任感を持つようになりました。販売先での、地域の方たちとの交流は、利用者の皆さんの視野も広がり、成長に繋がっていると思います。

また1個のパンから電話1本で配達に伺っております。たくさんの方々に、あすなるのパンを食べてもらいたいと思っており、気軽にご注文頂ければ嬉しく思います。

今後、地域1番のパン屋を目指し、美味しいパンを作りたいと思っています。

次に、製菓会社ベイクド・ア



出向班の作業風景

ルルの下請け作業を行っている出向班と、室蘭にあるテックムロランの下請け作業として、配線作業を行っている室内班ですが、どちらの班も一般企業の動向に左右されることが多く、作業量に波があるということがここ数年の現状です。

そんな中、出向班ではアルルの福袋詰め作業などの新しい作業が入ることや、室内班では廃油を利用した石けん作りを行っています。

室内班は去年の3月から作業所が移転し、以前より広いスペースで作業を行うことが出来るようになったことが大きな出来



室内班の新しい作業所

事でした。

室内班で毎年年末に行っているしめ縄作りを今年も行います。町内の方や、企業から多くの注文を頂いております。この場をお借りして、お礼申し上げます。これからも継続して、取り組んでいきますので、今後とも宜しくお願い致します。

このような1年でしたが、利用者の皆さんがケガや事故もなく作業を行うことが出来たということが何より1番だと思っています。

4月から、新年度も変わらず皆様のご支援を頂ければ幸いです。

プルサーマル計画に関する有識者検討会議の検討結果について

北海道では、平成20年12月14日に、プルサーマル計画に関する有識者検討会議から、北海道電力(株) 泊発電所のプルサーマル計画について、「安全性が確保される」との提言を受け、その検討結果を、より多くの道民に方に知っていただくため、検討結果の概要版パンフレットや「プルサーマルQ&A」を作成しています。

詳しくは、北海道のホームページ(http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/get/p_top.htm)をご覧ください。プルサーマル計画の安全性に関する検討結果についてご理解を深めていただければと思います。

■問合せ 北海道総務部危機対策局原子力安全対策課(☎011-205-5012)